

◇ 同好会「ハイキング」 4月22日(木) 快晴 参加者 12名

～当日は絶好のハイキング日和にめぐまれ、龍崖山へ！～

飯能駅を参加者12名、10時に出発。

今年最高の気温の中30分ほど登山口まで町中を歩き、ひと汗かいた。登山道に入ると、木々の間からすずしい風が汗を吹き飛ばし、登山の爽快感を味わった。途中2度の休憩をまじえて、龍崖山の山頂へ。

360°見晴らしが良く眼下には飯能の町なみが一望に見え、遠くには都庁や、スカイツリーが霞すんで見ることが出来まし



龍崖山の山頂にて



た。風が強く吹き飛ばされない様に気を付けながらお弁当を食べた。12時少し前に下山、女坂を下山予定でしたが、倒木が有ると言う立て札が有り道がふさがれていた。4月10日に下見した時は通れたので窪さんと数人が女坂を、私たちは安全をきして男坂をゆっくりと下山することにしました。男坂は擬木の階段がつづき無事下山合流した。時間が早いので吾妻峡で少休憩し能仁寺へ、能仁寺はもみじの木が多く秋にはまた来てみたい

お寺である。3時に飯能駅に到着、解散した。

<報告：松野 久男> 参考 約20000歩

参加者からの感想

<桜の季節が過ぎ、新緑がやわらぐ頃、龍崖山ハイキングを楽しみました> !!

西武線ひばりヶ丘駅に集合の11名と飯能駅で合流の1名の12名の参加で飯能駅10時頃に龍崖山目指してスタートです。藤の花やしやくやくが美しい住宅地を抜け「割岩橋」を渡ります。青空に山藤が美しく映えていました。龍崖山公園入口に到着。ここからいよいよ山道に入ります。この公園には長いすべり台があるとの事でぜひ一度体験したいものです。水分補給などひと息ついたあと出発です。聞いてはいましたが、しばらくアップダウンの山道が続きました。中



一休み・二休み・・・



龍崖山公園入口

間地点の「燧山」(ひうちやま)着、ここからは雪化粧の富士山を見ることが出来ましたが、眼下の工業団地の沢山の建物には少々興ざめました。しばしの休憩のあと、頂上目指して出発です。再びアップダウンの山道を行くと、標高 246m の「龍崖山頂着」です。山頂の温度計は 22 度、360 度のパノラマ、山頂からは手作り感満載の竹筒ののぞき穴式で奥武蔵の山々や市街地、スカイツリーまで見渡せました。ここは所々にベンチも置いてあ

るほど広く「城址」というのもうなずけます。さてお待ちかねの弁当を広げました。素晴らしい眺望のなか特別美味しく感じたのは言うまでもありません。下山の途中の「吾妻峡」では下りる道の両側に薄紫のシャガの花が見頃でした。ここでは清流に手をひたす人もいてしばしの涼を楽しみました。駅に向かう途中「能仁寺」や白いゾウの張り子が収められている「観音寺」に寄り旅の無事を感謝しました。商店街に入った所に見事な吊るし雛の「店蔵絹甚」に寄りました。100 年以上前に建てられた土蔵造りの店舗で絹織物などを扱っていたようです。ここから駅迄は商店街を通り、3 時前に飯能駅に戻りここで解散となりました。<春風が心地良く、青空の下、マスクの日々を忘れる一日でした>

企画して下さいました皆さんに心から感謝致します。

<パノラマ・溪谷・歴史> T.A.

標高 246m と低山とは思えない程山頂は見晴らしが良く、360 度の眺望で飯能市街が一望でき、奥多摩の山々や新宿のビル群・スカイツリーまで見えました。

山を下って休憩した吾妻峡では澄んだ水の流れと爽やかな風に癒されました。飯能市内の能仁寺では明治維新時の飯能を舞台とする「飯能戦争」の舞台であった事を知り、歴史を感じました。



吾妻峡での澄んだ水流で！